



ソフィー・シュタイナー

1995年11月4日にウィーンに生まれる。

4歳から音楽教育を、5歳からクリスティアーネ・ライプブランドキューゲル氏の元でハープを始め、様々な国内外のコンクールで優勝。

その後14歳で初めてのオーケストラのオーディションに合格し、若い時からオーケストラでの経験。それ以来、ハンブルク交響楽団、ヘッセン放送管弦楽団、リューベック室内管

弦楽団、ハンブルク・カメラータ、インフィルテル交響楽団(ISO)、メードリング交響楽団(MSO)、ウィーン・マーラー・オーケストラ、ウィーン・アカデミー・フィルハーモニー(WAPH)、アルトゥーロ・ソリア・マドリード交響楽団などのオーケストラに参加。シュネフェルド・オーケストラとアカデミー交響楽団(ASO)と共演。

カトリーヌ・ミシェル、イザベル・モレッティ、マルギット・アンナ・ズユース・シュネレンベルガー、アンネレーン・レナエルツ、シルヴァン・ブラッセルやエルネスティン・ストープなどの数々の著名なハーピストのマスタークラスを受講。

アルパラス・コンクールにて優れた音楽解釈した者に与えられるヴィクトール・サルヴィ賞を受賞。

また、ラジオでの受賞者コンサート、チャリティーコンサートやリサイタルなどのソロコンサートも行なっていて、現代音楽のテアター、キャンプナーゲルやヨープ・ファン・デン・アカデミー・ステージ・エンターテインメント(ミュージカル)などの音楽機構にも関与している。2017年にはブレゲンツ音楽祭にアカデミー・オーパス21としてゲスト出演した。

その他に、古楽を専門とするアンサンブル、トロバル・エ・カンタルのメンバー。CD

「DE: FINE AMOUR」が国際クラシック音楽賞(ICMA)2019にノミネートされる。

新しいコンサート概念の発展に尽くしメースフィールド奨学金を受ける。2019年、慣習的、文化的、社会的、芸術的、そして音楽的な境界線を越えることをコンセプトとしたプロジェクトシリーズ「Breaking Borders」を立ち上げる。

2017年よりドイツCusanus Werk 奨学金を受ける。

2018年、権威あるグザビエ・ドゥ・メストレ氏のクラスを優等の成績で終える。現在、自身の音楽のための新しいインスピレーションやアイデアを見つけるため、日本で木村茉莉と共に学ぶ。